

表紙作品について

作品：歌川^{うたがわひろしげ}広重（1797～1858）「富士^{ふじ}三十六^{さんじゅうろっけい}景」のうち「下総^{しもとう}小金原^{こがねはら}」安政5年（1858）
大判錦絵揃物 版元＝蔦屋吉蔵（城西国際大学水田美術館所蔵）

低い視点から、広々とした草原の彼方に富士を望む。躑躅^{つづじ}の咲く草原で、馬がのんびり草を食む春の情景である。近景の馬を極端に大きく描く近像拡大の構図で、奥行きのある空間を作り出している。小金原は、千葉県北西部の北総台地に広がる原野で、江戸時代に幕府直轄の軍馬の放牧地が置かれた。六つの牧の総称を小金牧といい、小金宿（松戸市小金）には、牧を管轄する小金御殿^{おうまや}があったという。富士山に見える風景を描いた、広重最晩年の三十六枚揃の一図。歌川広重は豊広門人。《東海道五拾三次》で人気を得、名所絵ブームに火をつけた大家。

（解説：城西国際大学水田美術館）

発行日	2012年1月31日 城西国際大学 日本研究センター紀要 第6号
発行所	〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 城西国際大学 日本研究センター TEL 0475-55-8800（代表） 日本研究センター URL http://www.jiu.ac.jp/japan/
編集	日本研究センター刊行物編集委員会
発行者	水田宗子
印刷所	株式会社 正文社 〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 TEL 043-233-2235
